

グラフ読み取りガイド

グラフには(**2**)種類の内容がかかっている。(それ以上かかっているものもこれから出てくる)
 グラフからは、それらの(**変化のようす**)がわかる。
 棒や線で表すことで、それらの(**規則性**)や(**傾向**)、比べたときの(**違い**)が見てわかる。
 そして、規則性がわかれば、(**グラフにない値**)も推測できる。

タイトルを見る

- ・ (**外界の温度**)と(**体温**)の関係
- ・ 知りたい情報があるグラフかどうかがわかる。

横軸と縦軸を見る

- ・ 横軸…実験で調節した量【 **外界の温度[℃]** 】
- ・ 縦軸…実験結果【 **体温 [℃]** 】

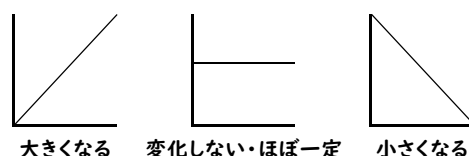
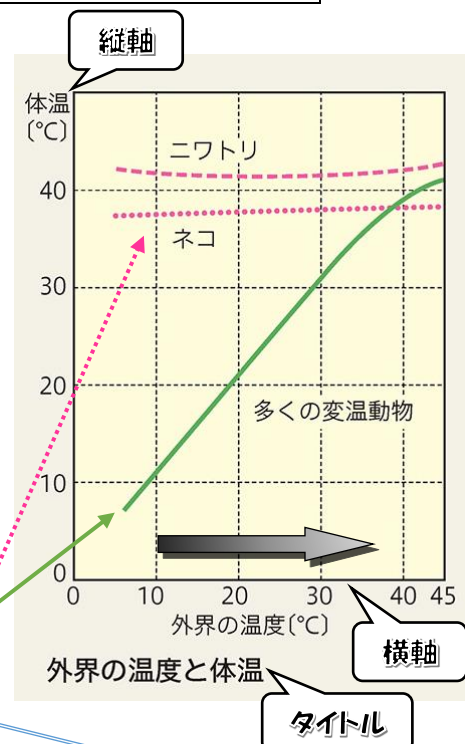
グラフの形を見る

- ・ 直線 or 曲線 直線なら規則性が、曲線でも傾向はわかる。
- ・ 線の傾きから(**規則性**)や(**傾向**)を見つける。

文で表す

- ・ 【横軸】が大きいほど【縦軸】は(**大きくなる**)
- ・ 【横軸】が大きくなっても【縦軸】は(**変化しない**)

まずは上記の型に入れてみましょう。
 その上で、自然な文に書き換えます。
 例 ① その他の例はこちら ②



見方	対象	結論
傾向	多くの変温動物	【外界の温度】が高くなるほど、【体温】が(高くなる)。
	恒温動物(ネコやニワトリ)	【外界の温度】が高くなっても、【体温】は(ほぼ一定)である。
関係	多くの変温動物	(約 5℃～30℃) のとき、【外界の温度】と【体温】は(比例)している。
		(40℃くらいより高い) とき、(体温の上昇) が(緩やか)になる。

複数の関係が重ねてある場合、それぞれを比べてわかることもある。

比較	ネコとニワトリ	どちらも外界の温度が変化しても体温は変わらないが、(ネコ)よりも(ニワトリ)の方が【体温】が(高い)。
	恒温動物と変温動物	恒温動物は【外界の温度】が変化しても【体温】は(ほぼ一定)であるが、変温動物は【外界の温度】が高くなるほど、【体温】が(高くなる)。

